



## 鉄道の計画運休の取組について

近年、気象災害の激甚化・頻発化を踏まえ、社会全体として防災への関心が高まってきている。鉄道における計画運休も、乗客等の安全を守る観点から、こうした防災につながる取組の一つとして実施しており、今日では広く定着したところである。

気象災害に対しては、気象庁等から事前に予測情報（例えば台風情報など）が公表されることから、風速や雨量などの予測値と運転規制の基準値等とを照らし合わせて、列車の運転への支障の可能性を判断することが可能である。運転に支障が生じるおそれがあると判断された場合には、突然の運休による駅での混乱や駅間停車した場合の乗客の閉じ込め等を防止するため、前もって運休を決める、すなわち、計画運休を実施することとしている。

実際に計画運休を実施するに当たり、刻一刻と変わっていく状況に応じた、利用者への情報提供は欠かせないことから、国土交通省と鉄道事業者では、平成30年から令和元年にかけて「鉄道の計画運休に関する検討会議」を複数回開催し、対応の考え方を「鉄道の計画運休の実施についての取りまとめ」として整理した。この中で「計画運休・運転再開時における情報提供タイムラインのモデルケース」を作成し、これをもとに各路線の特性に応じた対応をとることとしている（取りまとめ内容の詳細やモデルケースの詳細版についてはQRコードのリンク先を参照。）。

< 計画運休・運転再開時における情報提供タイムラインのモデルケース（概要版） >

気象状況 (気象庁における 予報・気象情報 の状況を含む。)	計画運休開始時刻から 概ねの時間	掲載内容例	行動
台風の進路予報円(暴風域)が当該路線沿線を通過する可能性があるとの予報を発表	(例)48時間前	<b>計画運休の可能性を情報提供</b> 例) 台風第〇号の接近に伴い、… 〇日(〇)の〇時頃から列車の運転を取り止める可能性があります。最新の気象情報と列車運行状況にご注意いただきますようお願い申し上げます	ウェブサイト、SNS、駅頭掲示等で多言語で情報提供(注)
台風の進路予報円(暴風域)が当該路線沿線を通過する可能性が高いとの予報を発表	(例)24時間前	<b>〇月〇日の運転計画(計画運休)の詳細な情報提供(随時更新)</b> 例) 台風第〇号の接近に伴い、… 〇月〇日(〇)の〇時以降順次列車の運転を取り止める予定です。なお、台風の進路等によって計画が変わる場合がございます。次回のお知らせは、〇時頃を予定しています。	適切なタイミングで報道機関、都道府県等へ情報提供
当該路線沿線に大雨・強風等の注意報発令			市区町村へ情報提供
当該路線沿線に大雨・暴風等の警報発令	計画運休実施	<b>当日の運転計画(計画運休)の詳細な情報提供(随時更新)</b> 例) 台風第〇号の接近に伴い、… 〇月〇日(〇)の〇時頃から順次列車の運転を取り止め、概ね〇時までには全ての列車の運転を取り止めます。なお、台風の進路等によって計画が変わる場合がございます。… 次回のお知らせは、〇時頃を予定しています。	(注)適宜情報を抜粋し、多言語により情報提供を行う。
当該路線沿線を台風が通過			
当該路線沿線を台風が通過した後	(例)24時間後	<b>明日以降の運転再開見込みについての情報提供(随時更新)</b> 例) … 台風通過後、風雨が落ち着いた段階で、線路等の安全点検を係員が実施します。その結果、… 倒木・土砂流出入等を確認した場合には、朝の通勤時間帯において、列車の運転が困難となる見込みです…。 次回のお知らせは、〇時頃を予定しています。	

「鉄道の計画運休の実施についての取りまとめ」

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo08\\_hh\\_000096.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo08_hh_000096.html)



「計画運休・運転再開時における情報提供タイムラインのモデルケース」

<https://www.mlit.go.jp/common/001296917.pdf>

